



地区青少年奉仕委員会では、地区内での青少年奉仕活動を共有するとともに、各クラブの青少年奉仕活動をさらに充実させるため、「青少年奉仕情報」を発行しております。各クラブの青少年奉仕活動をご紹介するだけでなく、インターアクト、ローターアクト、青少年交換、職場体験・インターンシップの活動についてもご紹介してまいります。ご愛読、そしてクラブ内への情報共有をよろしくお願いいたします。

第26号は、青少年奉仕からは下記のとおり「沖縄分区の青少年奉仕特集」、

P.4～ インターアクトから「インターアクト活動を通じて学んだこと」、

P.7～ ローターアクトから「各クラブの活動報告」、「各クラブの例会案内」、

P.13～ 青少年交換から「帰国報告会」の掲載がございます。

また、P.6に「青少年奉仕の基礎知識／職業奉仕とインターンシップ」の連載もございます。

1. 地区青少年奉仕委員会の活動（ご報告）

① 「沖縄分区・五大奉仕委員長会議 青少年奉仕部門」を開催しました！

10月19日（木曜日）、午前10時30より、沖縄かりゆしアーバンリゾート・ナハにて、沖縄分区・五大奉仕委員長会議 青少年奉仕部門を開催しました。沖縄分区各クラブの青少年奉仕担当のみなさまなど、24名のご出席をいただきました。地区インターアクト、地区ローターアクト、地区青少年交換、地区職場体験インターンシップの各委員会から、事業方針の発表と事業の報告がありました。また、名護ロータリークラブの大城洋介名護RC青少年奉仕委員長から「北部地区中学校新人野球大会」についてのご報告をいただきました（次ページに掲載）。



この後、ランチをしつつ、沖縄分区各クラブの青少年奉仕活動の報告を行っていただきました（次ページ以降に掲載）。沖縄分区も、インターアクトクラブの提唱や、青少年交換留学生の派遣と受入れ、ロータリー財団地区補助金を活用して児童園へのパソコンの寄贈（コザロータリークラブ。操作もレクチャーして自立支援につなげています）など、青少年奉仕を熱心に行われています。

② 沖縄分区青少年奉仕活動／名護ロータリークラブ「北部地区中学校新人野球大会」

名護ロータリークラブの青少年奉仕活動としましては、本年度で37年目となる「北部地区中学校新人野球大会」の開催がごさいます。青少年の体力の増進と地域における子どもたちの交流を深め、青少年の健全な育成に寄与することを目的に、当クラブは活動を続けております。本年度も8月11日（金曜日）13日（日曜日）までの3日間に開催して、成功に終わることができました。夏休みに健全に過ごすことも



目的としていることから8月開催ではありましたが、例年使用する名護球場が改装工事のため使用できず、初の国頭村にある球場「かいぎんスタジアム国頭」での開催でした。連日の猛暑もあって、青少年の熱中症や体力が心配で大会運営に今後の課題を残しましたが、各中学校の監督や関係者からも前向きな意見や提案も多くみられました。ロータリークラブ主催ではありますが地域全体が一丸となって大会を支えた印象ある大会でした。今後は東京オリンピックの開催される2020年に完成予定の「新名護球場」にて「40回記念大会」を迎えるため、名護ロータリークラブ及び地域の皆さまが今後も継続して青少年の健全育成に取り組むことができるものと確信しております。

また、新たな取り組みとして、名護市の桜開花促進活動「名護さくら開花プロジェクト（さくら育樹活動）」にて今大会の優勝校をはじめ、準優勝校、第3位・個人賞を含む各学校へ、桜の苗木をプレゼントしました。今後はこうした活動とも連動して、より地域に密着した青少年活動を活発に行っていきたいと考えております。

③ 沖縄分区青少年奉仕活動／那覇西ロータリークラブ

大学生への奨学金支給を重要事業（継続事業）と位置付け、基金の充実を図っています。本年度は、琉球大学及び沖縄国際大学から各1名の合計2名に奨学金を支給しました。

沖縄県と鹿児島県の高校生交流プロジェクトを実施しています（継続事業）。本年度は、11月5日～7日の日程で実施します。沖縄県からの参加者は、沖縄尚学高等学校の生徒5名、先生1名、当クラブの会員5名、鹿児島県からの参加者は、樟南高等学校の生徒、先生、鹿児島中央ロータリークラブの会員となります。



那覇商業高等学校インターアクトクラブを提唱しています。当クラブの例会にインターアクターを招き親睦を深めるとともに、インターアクトの清掃活動等に当クラブの会員が参加しています。また、ローターアクトクラブも提唱しています。ローターアクターと当クラブの会員との親睦と信頼関係の推進のため、ローターアクターの活動の場を提供し応援しています。

④ 沖縄分区青少年奉仕活動／那覇東ロータリークラブ

那覇東ロータリークラブは、インターアクトクラブ（興南高校）を提唱しており、さまざまなインターアクト活動を支援しています。「インターアクト年次大会への参加（本年度は8月に関東第一高校で開催されました。大会後に生徒と顧問教師を例会に招き、報告会を開催しています）」、「平和学習と清掃活動（毎年6月、嘉数高台公園）」、「国際通りクリーンアップ活動（毎年12月、国際通り）」、「インターアクト沖縄分区大会への参加（毎年2月）」、「ロータリアンとの交流会（非定期に開催）」などです。

青少年交換留学生の支援もしています。本年度はスポンサークラブとして、興南高校の名嘉千媛（なかしあき）さんを支援しています。8月にメキシコへ派遣となりました。

沖縄県特別支援学校への支援もしています。那覇東ロータリークラブ創立50周年（平成27年）の行事の一環として、沖縄県特別支援学校体育連盟の駅伝競走大会へ優勝旗の贈呈などを行いました。それを機にクラブの継続事業として取り組むこととし、社会奉仕委員会と共同でさまざまな支援を実施、検討しております。

「毎年11月の体育大会への支援」、「毎年2月の駅伝競走大会への支援」などです。来年度（2018年）は体育大会が30回目を迎えるということで、ロータリー財団の地区補助金を活用し、大会の運営に必要な物品の寄贈、大会応援、協賛広告などを計画しております。将来的には、職場訪問や職業訓練を行い、就労支援へと繋げていきたいと考えています。また、特別支援学校の生徒と、興南高校インターアクトクラブのメンバーとの交流の機会を作り、相互の理解を深め、健全な心の成長に寄与したいと考えます。

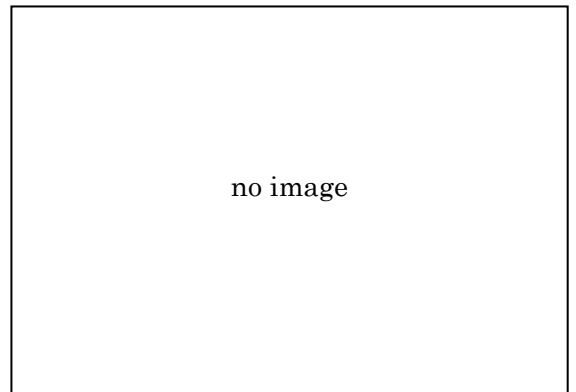


⑤ 沖縄分区青少年奉仕活動／浦添ロータリークラブ

浦添ロータリークラブが提唱している昭和薬科大学付属高校インターアクトクラブの活動が活発です。「あしなが学生街頭募金」、「沖縄慰霊の日、平和学習クリーン奉仕活動」、「瀬長島ビーチクリーン奉仕活動」、「沖縄テレビ24時間街頭募金」、「国際通りクリーン奉仕活動・ラジオチャリティー・ミュージックソン」の他、校内清掃やボランティア活動等を継続して実施しています。浦添ロータリークラブでは、インターアクターを例会に招待しています。

また、ロータリー財団の地区補助金を活用して、児童書の寄贈を行っています。

本年度は、青少年交換留学生を受け入れています。ベルギーから派遣された、マリーナさんです。



2. インターアクトの活動（ご報告）（鈴木地区インターアクト委員長より）

① 各インターアクトクラブの会長から、インターアクト活動を通じて学んだことや今後の活動の意気込みについて

東京北部：

日本大学第一高等学校インターアクトクラブ 会長 山田拓海

私は、インターアクト活動から、人と人との繋がり大切さ、そして誰に対しても親身になって接することの大事さ、また人は第一印象ではなく会話を通じて判断理解するということが大切だということも学びました。

関東第一高等学校インターアクトクラブ 会長 大沢 隼

多くの方との交流を大切にしています。交流を持つことで足りないものがあるからです。交流を通し成長することで何事にも貢献したいです。関わっていただいた方々の感謝の気持ちは忘れません。今後も一生懸命に頑張ります。

愛国学園インターアクトクラブ 会長 鈴木 舞

奉仕活動が単に他者へのものではなく自らを成長させてくれるものだと学びました。沖縄分区で開催したインターアクト年次大会や合同活動等でロータリークラブの皆様や他校のインターアクターとも交流できました。出会いを大切に、クラブの継続と発展を後輩に托します。

城西大学附属城西高等学校インターアクトクラブ 会長 吉田葵

ボランティアやインターアクト年次大会、どちらも人とのつながりがあることで成立する活動なので、つながりが大切だと強く感じます。そのため今後はつながりをさらに広げ、活動や人間性を一回り大きく成長させていきたいです。

潤徳女子高等学校インターアクトクラブ 会長 大西琴乃

私が活動を通じて学んだことは、周りの人と協力をすることです。協力することで難しい課題も成功することを改めて感じました。本年度は会長として地区合同活動を成功させたいです。

北豊島学園インターアクトクラブ 会長 渡辺美月

私はこのクラブに入り、深く人と関わりを持つことで、自分の価値観を成長させることが出来ました。奉仕の精神を周りの人たちにも伝え、これから先もずっと人と人との優しさを紡いでいけるように精一杯頑張りたいです。

沖縄分区：

那覇高校インターアクトクラブ 会長 山城綾音

私がこの活動を通して学んだことは募金活動やゴミ拾い、インターアクト年次大会運営の補助などさまざまな種類のボランティア活動が数多く行われていることです。今後は、さまざまなボランティア活動に参加し、また、多くの人にインターアクト部のことを知ってもらえるように頑張りたいです。

那覇商業高等学校インターアクトクラブ

インターアクトクラブの部員は、1年生が多くて本格的な活動ができていませんが、これからの活動では積極的に取り組みたいと思っています。募金活動や校内及び地域の花壇清掃などを中心に活動の幅を広げていきます。

興南高等学校インターアクトクラブ 会長 比嘉藍梨

私はインターアクトで人と人との助け合いを学びました。インターアクト年次大会等、さまざまな活動の準備や募金等の奉仕活動は、多くの人との助け合いで成り立つと感じたのです。これからも人と人との繋がり、助け合いを大切に活動したいです。

昭和薬科大学附属高校インターアクトクラブ 会長 浦澤陽菜

団体に属しているという責任感や人の役に立つ喜び、奉仕の精神を学びました。また、コミュニケーション能力やリーダーシップも育むことが出来ました。今後も学んだことを生かし、積極的に人との関わりを持ち、奉仕に努めます。

沖縄高専インターアクトクラブ 会長 内野健太郎

私はインターアクト活動を通して社会で生活している人々と関わり、沢山の人が協力しているからこそ、自分だけでは作りきれない現代社会の在り方を学びました。今後も活動を通じて、共に生活している人々を笑顔にしていきたいです。

北豊島学園インターアクトクラブからの活動レポート

10月8日(日曜日)、北豊島学園での文化祭にて「気仙沼の水産加工品の販売ボランティア」を行いました。気仙沼の水産加工品の手配は、気仙沼と東京のローターアクター有志による「気仙沼仕事創出プロジェクト」がサポートしました。水産加工会社「マルトヨ食品」さんの「さんまくん」(さんまの燻製)と「さばの味噌煮」を販売し、完売しました。また、販売に際して、さんまくんの一手間かけたレシピを提案(模造紙に記載)するなど工夫も行いました。

no image

連載！ 「青少年奉仕の基礎知識／第7回／職業奉仕とインターンシップ」

当地区の地区青少年奉仕委員会の被包括委員会（小委員会）として「地区職場体験・インターンシップ委員会」があります。職場体験というと職場見学と同じようなイメージを持たれる方も多いと思います。また職場体験とインターンシップの違いも少々分かりにくいところです。一つの捉え方として職場体験とインターンシップは、受け入れる事業所からみると生徒や学生は「内部」の人になります。彼らはお客様ではありません。一方、職場見学は、来訪者はあくまで「外部」の人です。社員と共に働くわけではないですからこれは自然な捉え方です。では、職場体験とインターンシップとの違いは何でしょうか。職場体験もインターンシップも、社会性や望ましい勤労観・職業観を身に付けさせるという目的は同じですが、職場体験は実際の職場で社会の一員としての自覚を持たせることが主眼であるのに対し、インターンシップは進路選択の能力や技術を向上させるべく、産業の現場で自分の学習内容や進路に関連した就業体験をすること（当地区の東京北部では、雇用を前提とした試用とは捉えていません）であり、この社会との遠近感が最大の相違点といえるでしょう。昨今、未来を担う青少年の教育の課題として、学校教育、家庭教育、社会教育の三者連携の重要性が指摘されていますが、職場体験・インターンシップは社会教育にかかわる有意義な事業です。まさにロータリーの活躍の舞台であり、更には青少年奉仕だけでなく、職業奉仕・社会奉仕を同時に行える素晴らしい事業です。

気仙沼と東京のローターアクター有志による「気仙沼仕事創出プロジェクト」レポート

気仙沼フードマイスター講座第5期を開催しました（9月30日、10月21日）

気仙沼にあります東陵高校の生徒がマーケティングの基礎知識を活かして「水産加工品のアレンジレシピ」（一手間加えるレシピ）を考案し、このレシピを実際に調理、試食し、プレゼンテーションを行いました。①アイスブレイキング、②マーケティング講座（ローターアクターがレクチャー）、③さんまの燻製（さんまくん）、なまり節のターゲットを設定して、キャッチフレーズとパッケージについて考えるワークショップ、そして、さんまくん、なまり節を使っでの調理という流れです。東陵高校生の考案したアレンジレシピは、「さんまくんのクリームパイ」（クリームシチューがパイ生地に含まれています）、「なまり節丼」（なまり節を炒めて下味をつけています）、「なまり節の春巻き」（具沢山です。春雨の食感も楽しいです）です。その後、試食、プレゼンテーションとなりました。プレゼンテーションでは、「さんまくんの量を少なくし過ぎた」とか、「なまり節丼にはあんかけが必要だったかも」など、それぞれ自身の作ったアレンジレシピの評価もありましたさらに、ワークショップのパッケージについてのプレゼンもありました（女子高校生をターゲットにしました）。一昨年の第3期から毎回参加してくれている3年生女子がリーダーシップを発揮するようになっていました。



なお、来年2月、東陵高校生数名を東京に招待し、アレンジレシピのプレゼンテーションと東京の高校生との交流を行う予定です。

3. ローターアクトの活動（ご報告とご案内）（地区ローターアクト広報委員会より）

① 東京東ローターアクトクラブ

10月第二例会「米山梅吉記念館の訪問及び第2660地区ローターアクト交流例会」

日時：10月14日-15日

会場：三島、沼津

内容：

東京東、東京池袋、東京荒川ローターアクトクラブの三クラブ合同で行いました移動例会です。米山梅吉記念館に行き、学芸員の方から米山梅吉様がローターアクトクラブを設立した経緯やその生い立ちなどを教えていただきました。今まで知らなかったローターアクト設立についての歴史を知ることが出来、非常に感慨深かったです。また、実際に静岡県に足を運ぶことで静岡のローターアクターとも交流を深めることが出来ました。静岡のローターアクターは初対面にも関わらず、ローターアクターというだけで積極的にコミュニケーションをとって下さりました。それぞれの悩み相談や、クラブの話など、立場は違ってもこんなにも盛り上がるものかと非常に驚きました。他地区のローターアクター同士がもっと気軽に会える距離なら良いのにと強く感じる移動例会となりました。

おすすめ例会：

日時はまた未定ですが、12月に「東京東忘年会例会」を行います。

本年度の提唱クラブ、ローターアクト委員長の山下岳英様の提案で、一度、親睦メインの例会を開いた方が良いとのことで一年間のお疲れ様でしたとローターアクター同士で親睦を深めることを目的とした例会です。

登録先／河村一輝 (kakky.k7001@gmail.com)

② 東京荒川ローターアクトクラブ

10月第二例会「米山梅吉記念館の訪問及び第2660地区ローターアクト交流例会」

日時：10月14日-15日

会場：三島、沼津

内容：

普段お世話になっているロータリークラブについて改めて勉強すべく、日本にロータリークラブを初めて設立した人物でもある米山梅吉記念館を訪問しました。また、記念館が三島駅周辺にあるということで、クラブ間交流として、第2660地区のローターアクターとの懇親会を行いました。二日目は沼津駅まで移動し沼津港周辺にて、深海水族館に行き、少しばかりの観光をさせていただきました。今回、日本に初めてロータリークラブを設立した米山梅吉先生の歴史に触れることができ、非常に勉強になりました。

おすすめ例会：

11月26日（日）

卓話例会「賃貸 vs 持ち家 どちらが得なのか」

会場：株式会社リバイブル

③ 那覇西ローターアクトクラブ

10月第1例会「地区行事の下見例会」

日時：10月15日（日）

内容：

今回の例会は12月に行われる地区行事に向けて現地の下見となりました。沖縄戦から72年。当時の経験をされた方々が減少している中、平和への祈り、そして沖縄の若い世代が想いを繋げ発信していかなければならない状況でありながら、沖縄ではほとんどの若者が余り認識していないという現状にあります。そこで、今回は「ひめゆり平和記念資料館」で勉強して参りました。私たち20代と近い年齢の方々が体験した事、当時の想い、そして未来への希望、一つ一つが心に刺さる資料でした。この貴重な学びの場所へ東京のメンバーと共に再び訪れ、「ローターアクトを通して繋がっている沖縄とはどういう場所なのか」ということを感じられたらと思います。



おすすめ例会：

日時：未定

内容：中部の文化に触れよう例会

登録先：mariocu4123055@yahoo.co.jp

④ 東京池袋ローターアクトクラブ

【9・10月の例会】

9月第2例会「ニコニコ BBQ 例会」

開催日：9月23日（土）

10月第1例会「米山梅吉記念館の訪問及び第2660地区ローターアクト交流例会」

開催日：10月14-15日（土日）

内容：

今回は、東京東ローターアクトクラブ、東京荒川ローターアクトクラブ及び東京池袋ローターアクトクラブの3クラブ合同にて、いつもお世話になっているロータリークラブの歴史を学ぶ機会として例会を企画しました。新入会員にはロータリーの歴史を学ぶ機会となり、既存会員には歴史を改めて学んで初心に戻る機会となりました。遺品の食器等から



は、米山梅吉が贅沢をしなかったことが伺えるというガイドさんの説明を受け、彼が本当に自分以外の人の笑顔が見たいという思いのもと、仕事や奉仕に励んでいたということに感銘を受けました。ぜひ自クラブの活動にも活かしたいと思います。また、懇親会には第 2660 地区ローターアクトのローターアクターが参加してくださり、普段は地区の活動に参加することが少ない会員も友好の輪を広げることができました。

10 月第 2 例会「第 29 回 ふくし健康まつり」

開催日：10 月 29 日(日)

おすすめ例会：

日時：12 月 23 日（土）

内容：クリスマス合同例会

登録先：幹事 阪口章吾 ogurogigorugo@gmail.com

⑤ 東京江戸川ローターアクトクラブ

9 月度例会「新入会員歓迎会例会」

内容：

新たに二人のメンバーが加えて、後期の活動の目標と方向性を話し合い、思いを共有しました。次回以降は、自己紹介を含め、再度一体感を出すために食事会等をしていきます。また、江戸川のいいところを発表し合い、今後の活動に取り入れていきます。

⑥ 東京ローターアクトクラブ

9 月度例会「若い世代への期待」

日時：9 月 16 日（土）

内容：

東京ロータリークラブの現会長である森田富治郎様にお出でいただき、学士会館にて例会を行いました。「若い世代への期待」というテーマのもと、これからの時代の流れと避けられない問題に対する方策を示していただきました。ロータリークラブの意義が真に求められる状況に臨んで我々の世代があらゆる



教養をもって協力していくことが必要なのだと実感しました。現実がどのようなであって、それにどう行動していくのかを真剣に意識させられる貴重な機会となった例会になりました。

10 月度例会「海外ローターアクター（ドイツ）との交流」

日時：10 月 21 日（土）

内容：

10月度例会として「森永乳業 研究・情報センター」の見学に伺いました。台風と選挙が徐々に荒れる中、行われた移動例会は、装いを新たにしたばかりのセンターでの貴重な体験となりました。日々、手に取り、口に入れる食品を支えている研究は現代のあらゆる人に不可欠な要素であります。腸内フローラとビフィズス菌研究の紹介では目に見えざる菌の世界が、人に与える影響についての最先端を教えていただき、その可能性を考えさせられることとなりました。折に触れることも少ない菌とその研究が社会に還元するものが、何よりも多くの人々の生活を支えるものであると気付かされるまたとない有意義な例会でした。

おすすめ例会：

11月度例会

日時：11月25日(土) 14:00-17:00

場所：湯島 鮭いづ 本店

テーマ：寿司握り体験（東京ロータリークラブ 橋本有史様ご紹介）

※人数に限りがございます

登録先：柏原忠和 (lwayticket0114@gmail.com)

⑦ 東京東江戸川ローターアクトクラブ

9月第1例会「フリーマーケット例会」

日時：9月10日(日)

内容：

提唱クラブである東京東江戸川ロータリークラブの嶋村様の会社では、近隣の住民や社員の方が大勢集まる「島村感謝祭」を開催しておられます。毎年この一角を借りて、地元のお客様との会話や駆け引きを楽しみながらフリーマーケットを運営しています。収益は日々の活動資金として使わせていただいています。今年も大盛況に終わることが出来ました。



9月第2例会「サマーキャンプ例会」

日時：9月16日、17日

内容：

埼玉県の長瀬オートキャンプ場で1泊2日のサマーキャンプを行いました。雨の中でのキャンプでしたが、クラブメンバーの親睦を十分に深められた2日間だったと思います。皆さんに「とても楽しかった」と言っていただけたので、来年も企画したいと考えております。

⑧ 嘉悦大学ローターアクトクラブ

10月度例会「アウトドア例会 in 高尾山」

日時：10月21日

内容：

当日は雨天のためアウトドアではなくトリックアート美術館や599ミュージアムなどを満喫し、日頃気になっていたもなかなか行く機会のない施設に行くことができました。最後に参加者全員で温泉に行き、充実した例会にすることが出来ました。

⑨ 東京ワセダローターアクトクラブ

10月第2例会「ハロウィン例会」

日時：10月21日(土)

内容：

長嶺会員の自宅にて、青少年交換留学生5名を招き、東京池袋西ローターアクトクラブと東京ワセダローターアクトクラブが合同で「ハロウィン例会」開催しました。このハロウィン例会の開催目的としては、東京ワセダローターアクトクラブの提唱クラブである東京ワセダロータークラブが奉仕事業として行なっている「あけの星学園」と交流を図るための素地作りです。小林資果会員、片山姫乃会員が中心となりジャックオーランタン、かぼちゃのカップケーキを作りました。ジャックオーランタンはロウソクの光が灯され、カップケーキは片山会員の自作レシピにより、濃厚で素材の味が活かたいへん美味しいスイーツとなり、楽しく例会を実施できたと感じました。しかし、同時に課題点も発見されました。制作に夢中になり、会員・ビジター同士の交流が疎かになり、また、食事の時間も短くなってしまったことです。多くの人数が参加し交流に重きを置く場合、簡易な料理にすることや各参加者の自由によって楽しく調理ができる環境を整えなければならないと学ぶことが出来ました。



おすすめ例会：

12月度例会「第二回 RA サミット」

日時：12月16日(土)午後

場所：新宿駅周辺会議室

テーマ：「どのようなクラブ例会をすればより魅力的なクラブを作れるか」をディスカッションする会を実施したいと考えております。多くのロータリアン様、ローターアクターの参加をお待ちしております。

⑩ 東京浅草中央ローターアクトクラブ

10月第二例会「フラダンスフェス in 浅草」

日時：10月14日(土)・15日(日)

場所：浅草神社の神楽殿

内容：

提唱ロータリークラブである東京浅草中央ロータリークラブ主催のもと、「第2回 フラダンスフェス in 浅草」を開催しました。震災から6年がたった今もなお、復興支援は続いています。その過程において、被災地から日本全国へフラダンスを通じて「元気」を届けようと、日本各地で活動する福島県いわき市の高校生フラガールたちを



招聘し、フラダンスを踊っていただきました。お越しいただいた福島県にある3校（好間高校、いわき総合高校、湯本高校）の高校生フラガールたちは、今年行われた全国競技大会「第7回フラガールズ甲子園」で上位5位以内に入るほど、実力のある高校生ばかりでした。当日は天候には恵まれませんでした。2日間で約1000名近くの方々がフラダンスを見に浅草神社に足を運んで下さいました。海外からお越しの方も多くいらっしゃいました。足元の悪い中、福島県からお越しいただいた高校生フラガールたちが精一杯踊り、浅草神社にお越しになった方々に元気と笑顔をしっかり届けていたと感じました。参加した会員からも、「被災した子どもたちがあんな素敵な笑顔で、逞しく成長している姿を見せて貰えて、私も頑張ろうって思えました。」、「踊っている時の笑顔が素敵で元気をもらえました。」、「フラダンスの奥深さを垣間見ることができました。」などの感想もいただきました。

おすすめ例会：

12月第一例会

皆さんはミュージカルを観に行ったことがありますか？ 学生のころ、課外授業で見たことがある方も多いかもかもしれませんが、個人的に観に行こうとすると、「敷居が高い」、「チケットが取れない」、「そもそもチケットの取り方がわからない」等の理由で定期的にミュージカルを観に行く方は少ないのではないのでしょうか？ 今回の例会では、そんなミュージカル初心者向けにぴったりな劇団四季を中心とした、ミュージカルの魅力についての卓話を開催します。実際の音楽や映像を用いた作品解説や、チケットを取る裏ワザ、人気役者のことなどわかりやすくお伝えします。きっとミュージカルを観に行きたくなること間違いなしです。

登録先：金谷一希 (kazuzu.2580@gmail.com)

ローターアクトクラブ例会へのお誘い

上記にて、各ローターアクトクラブから「今後の活動予定」として、ローターアクトクラブ例会などのご案内がございます。この例会については、未提唱クラブのロータリアンのご出席を歓迎しているものです。ぜひ、ご興味ございましたら、ローターアクト活動に直に触れていただければと存じます。青少年奉仕はまず青少年に会うことからです。お問合せやお申込みは「登録先」のメールアドレスになります。

なお、ローターアクトクラブ例会への出席は、ロータリアンにとってもメーキャップになります。

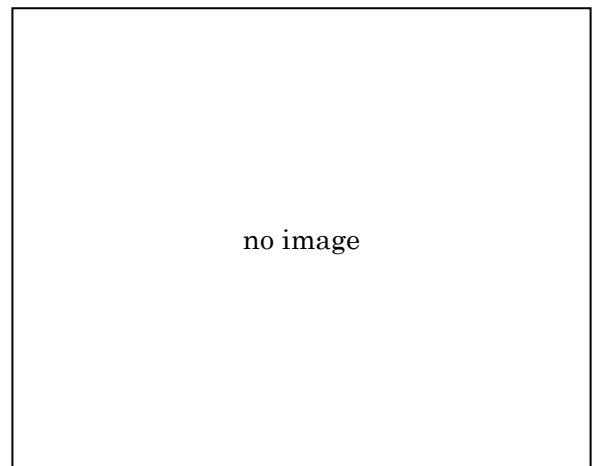
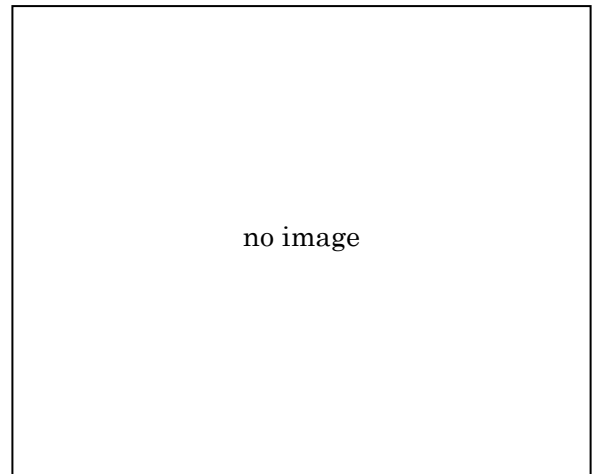
4. 青少年交換の活動（ご報告と予定）

① 第 52 期派遣学生帰国報告会、17 年度来日・第 52 期派遣学生合同歓迎会、第 54 期派遣予定学生合格証授与式

9 月 24 日（日）、学士会館（東京都千代田区）において、第 52 期派遣学生帰国報告会が行われました。それぞれの派遣国の旗を掲げた 10 名の第 52 期派遣学生が入場してくると、温かい大きな拍手が会場に鳴り渡りました。休憩をはさんで前半 5 名、後半 5 名が帰国報告のスピーチを映像も使いながら行いました。派遣国や実際滞在した場所の紹介、学校生活、食生活、休日の過ごし方、参加したボランティア活動、ホストファミリーや現地で出来た友人たちとのエピソード。時に真面目に、時にユーモアを交えて、お世話になった人たちへの感謝の念を表明しつつ、正々堂々と立派にスピーチを披露しました。アメリカ合衆国に派遣され、大統領選挙を間近で感じた派遣学生は、「国際政治に興味をわき、大学では国際政治を学びたい」と語り、18 歳から法律上大人とみなされ、高校生の間に進路を決めるというチェコに派遣された学生は、「将来は世界と繋がっているという事が実感

できる方向に進みたい」と語るなど、自分の進路についても考え方を深める事ができたようです。「自分の意見を持つことの大切さを知った」「自己主張しない限り何を考えているかわからない子と見られてしまう」「自分から行動を起こさないと何も変わらないとわかった」等、知っている人が誰もいない環境の中に飛び込んで、ホストファミリーや学校の友人との人間関係を一から構築しないとならない状況の中で、他者とのかかわり方や自分の在り方を真剣に考え、実践する機会を持てたことは、この年齢の子たちにしかできない本当に貴重な体験であったと思います。10 名の帰国報告の次に、元グローバル補助金奨学生としてハーバードに留学後、現在は外務省でミサイルの不拡散の仕事に取り組んでいる小田川肇さんによる特別講話がありました。小田川さんは派遣学生にとってひとつの具体的にイメージできる将来の姿であり、派遣学生たちに向けたエールは大きな励みになった事と思います。その後、第 52 期派遣生ひとりひとりに、吉田雅俊ガバナーから記念楯が手渡され、無事帰国報告会は閉会しました。

さて、10 名の第 52 期学生帰国報告会の後は、同じ学士会館内の別の会場に場所を移して、帰国学生・来日学生・派遣予定学生の合同歓迎会が行われました。和気藹々と会場のあちこ



ちに歓談の輪ができました。歓迎会では、2017-18年度来日学生による挨拶、第54期(2018-19年度)派遣予定学生による挨拶が行われました。第54期派遣予定学生には、吉田雅俊ガバナーから合格証が授与されました。2年後、今度はこの第54期の10名の学生たちが、帰国報告会を行うこととなります。どのような成長を遂げて私たちの前に立つか、とても楽しみです。こうして盛りだくさんの合同歓迎会も盛会裏の内にお開きとなりました。

② 茶道稽古

第54期派遣予定学生と2017-18年度来日学生を対象とした茶道稽古が、裏千家今日庵(東京都新宿区)にてスタートしました。毎月2回のペースで来年7月まで稽古は続けられます。代表的な日本文化・茶道に接する機会となるため、派遣予定学生、来日学生の参加は義務になっています。第1回目の茶道稽古は9月30日(土)に行われ、学生参加者12名(第54期派遣予定生4名、2017-18年度来日学生8名)でした。

③ 国際ロータリー第2580地区/2750地区 青少年交換委員会合同会議

11月9日(木)、ホテルニューオータニにて、国際ロータリー第2580地区と第2750地区の青少年交換合同会議が行われました。この合同会議は恒例化しており、ホストは隔年で回ってきます。今年度は第2750地区がホストとなり開催されました。地区委員、14人、ROTEX、6人が参加しました。両委員会委員長挨拶の後、委員自己紹介、両委員会の活動報告、ROTEX活動報告が終始和やかな雰囲気の中に行われました。活動報告では、隣接する地区でありながら、青少年交換の活動の違いが浮き彫りになり興味深い内容であったと同時に、委員会運営を客観的に見つめる良い機会になったと思います。両地区の青少年交換委員会が一層活発化する契機にできれば尚良いと思います。合同会議後は懇親会が開かれ、熱心な意見交換を重ねながら親睦を深めることが出来ました。

④ 今後の活動予定

12月17日(日)、12月度フィールドトリップ
開催場所 サラ・アングルーサ(東京都渋谷区)

12月24日(日)、14:00~20:00
開催場所 学士会館(東京都千代田区)

2017-18年度来日学生 カウンセラー・ホストファミリー会議・懇親会、派遣先決定通知
※ 各クラブにご案内を差し上げています。ご出席よろしくお願ひします。

「青少年奉仕情報」第26号発行にあたって

日頃は青少年奉仕活動へのご理解及びご協力をいただきまして誠に有難うございます。10月19日に開催されました沖縄分区インターシティ・ミーティング当日の午前中に、「沖縄分区・五大奉仕委員長会議 青少年奉仕部門」を開きました。日頃は接することの少ない沖縄のメンバーの方々との情報交換はとても有意義なものでした。そこで本号には、在京の方々にもそこで得られた情報を共有したく巻頭に沖縄特集を組んでおります。沖縄での取り組みもご参考ください。

その他、各インターアクトクラブの会長コメントから、ローターアクトクラブの活動報告、そして青少年交換につきまして今年の夏に帰国した派遣学生たちが一年間の留学生生活を報告する帰国報告会の様子も掲載しております。彼らの活動が皆様におかれましては大きな刺激となることを期待しつつ、今後も引き続き皆様の温かいご支援、ご指導をお願い申し上げます。

地区青少年奉仕委員長 大西太一郎（東京紀尾井町ロータリークラブ）

今号も最後までお読みいただき、誠にありがとうございました。

クラブから、青少年奉仕活動の開催情報・ご報告（写真のデータとキャプションだけでもかまいません。随時募集中です）、また、本誌へのご意見・ご質問などをお待ちしております。

お問い合わせ／掲載希望などの連絡先

地区青少年奉仕委員会（担当；茂木）まで mitsu-motegi@msc.biglobe.ne.jp